

評価シート③

〔決算委員会資料〕
〔簡易版〕
〔監査報告書〕

評価シート③ 大項目「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」 〔法第2条第1項第4号易版〕

教育方針	努力目標	政策	施策	対象	手段	目的	20年度 評価結果【内部】			成績指標名	成績指標(実績)	(参考)19年度指標	備考
							成績指標(目標)	成績指標(実績)	成績指標(目標)				
豊かな学校環境の充実	豊かな学校環境の充実	学校教育事業	2,436千円	・児童・生徒と、保護者・教職員が共に行動する場を設定することによって、心のぶれないが深まらない重みが取れること。研究開発課題を実施する。 ・具体的な児童モデルが提出できる。「コミュニケーション」の実践についての研修会の実施についの研修会が深まる。	「いいのちを見つめる強調月間」の設定、市内全小中学校において道徳授業の公開、心の英会話研究開発課題実施、安心をはぐくむ英会話研究開発の指定、「コミュニケーション」能 力向上のための指導を行った研修会の実施。	講演会の実施や、各小中学校区で見られた道徳授業の展開及び本格活動等、活動の充実は図られている。今後これら活動をおおむねに継続させいくが、その中で児童の心が豊かに育つことをめざして、心の教育をどのように足していくかが課題となる。	85 %	86 %	82 %	96 %			
豊かな学校環境の充実	豊かな学校環境の充実	学校教育事業	9,589千円	・相談者が、相談担当から適切なアドバイスや情報を得て、少しでも悩みが緩和したり、解決したりする。	例年同様に、2009年度も相談件数が多いかった。おおむね毎年のように今年度の動向を明確にし、社会保険の費用活動に力を入れ、左世保市の児童生徒のために両派を行っている。	450人	722人	477人	64 %	64 %			
豊かな学校環境の充実	豊かな学校環境の充実	学校教育事業	4,072千円	児童生徒が在籍する学校で、精神的に安心できる環境の整備を図る。○専用防犯電話(他のテレホン)の設置。○休日教育相談(毎月第3日曜日13:00から16:00までの実施。	不登校児童生徒及びその保護者の不安や悩みを取除く。また不登校児童生徒が、小集団活動を通して毎日安心して能動的力を養みながら学校へ帰宅する。	不登校児童生徒の学校復帰率	50 %	58 %	58 %	64 %			
豊かな学校環境の充実	豊かな学校環境の充実	学校教育事業	84,139千円	教育委員会の運営及び教育委員会事務局全般の運営運営及び基礎的な基幹となる業務に関する経費の支出し。	教育委員会の運営及び教育委員会事務局全般の運営運営及び基礎的な基幹となる業務に関する経費の支出し。	教育委員会の運営及び教育委員会事務局全般の運営運営及び基礎的な基幹となる業務に関する経費の支出し。	94 %	99 %	99 %	98 %			
豊かな学校環境の充実	豊かな学校環境の充実	学校教育事業	592,02千円	児童・教職員の安全・安心の確保をめざす学校運営の実現。	教育方法の多様化・高密度や環境変化により固有に求められるにこなった性能への対応した施設の質的向上。	事業実施平成	100 %	100 %	100 %	100 %			
豊かな学校環境の充実	豊かな学校環境の充実	学校教育事業	602,364千円	生徒・教職員が利用する学校運営の実現。	教育方法の多様化・高密度や環境変化により固有に求められるにこなった性能への対応した施設の質的向上。	事業実施平成	100 %	92 %	92 %	79 %			
豊かな学校環境の充実	豊かな学校環境の充実	学校教育事業	616,175千円	小学校の管理運営、施設管理全般に対する経費の支出し。図書や教材等の購入。保護者負担試験及び教師の研修支援。	学校での多様な課題や環境変化に対応するため、各種の経費を要している。児童生徒の安全・安心の確保に向けた施設の質的向上等に左右されが、効率的な予算執行を行なう。児童生徒の確保につまコストの縮減に努め、安定的かつ効果的な学校運営を図る必要がある。	小学校児童1人あたりの経常的管理経費	19,575円	18,808円	18,128円	18,128円			
豊かな学校環境の充実	豊かな学校環境の充実	学校教育事業	380,394千円	中学校の管理運営、施設管理全般に対する経費の支出し。図書や教材等の購入。保護者負担試験及び教師の研修支援。	学校での多様な課題や環境変化に対応するため、各種の経費を要している。児童生徒の安全・安心の確保に向けた施設の質的向上等に左右されが、効率的な予算執行を行なう。児童生徒の確保につまコストの縮減に努め、安定的かつ効果的な学校運営を図る必要がある。	中学校児童1人あたりの経常的管理経費	24,500円	23,612円	23,357円	100 %	100 %	100 %	
豊かな学校環境の充実	豊かな学校環境の充実	学校教育事業	75,411千円	就学援助、就学用品、通学用品、給食費など・奨励金の支出し。教科書等の購入。バス代の3%／徒步往復距離、支教費、教育実習費、就学に必要な経費を支払う。上戸地区道路線及び公共交通工具の保有者。	就学援助、就学用品、給食費など・奨励金の支出し。教科書等の購入。バス代の3%／徒步往復距離、支教費、教育実習費、就学に必要な経費を支払う。上戸地区道路線及び公共交通工具の保有者。	就学援助、特別支教費、教育実習費正規料率							

教育方針	努力目標	政策	施策	対象	手段	目的	20年度 評価結果【内部】		成果指標(目標)	成果指標(実績)	(参考)指標	備考
							評価	結果				
新小時代を生きるために必要な経験の補助を行う。	経済的理由により、学生の困り感や心配感、選択肢の選択肢を通じて、学生の保護者に対する理解を深めることができる。	安全・安心な教育環境の確保	中学校生成事業	55,129	「高等学校用品、通学品、給食食料等など」・塾問題を通じて、生徒が自ら理解を図り、生徒が専しく教育を受ける余地がある。	創学援助 私的特別支授 奨学金受取率 支給率	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	備考
新小時代を生きるために必要な経験の補助を行う。	経済的理由により、学生の困り感や心配感、選択肢を通じて、生徒が自ら理解を図り、生徒が専しく教育を受ける余地がある。	安全・安心な教育環境の確保	中学校生成事業	442,641	「高等学校用品、通学品、給食食料等など」・塾問題を通じて、生徒が自ら理解を図り、生徒が専しく教育を受ける余地がある。	創学援助 私的特別支授 奨学金受取率 支給率	95 %	92 %	92 %	84 %	84 %	備考
新小時代を生きるために必要な経験の補助を行う。	経済的理由により、学生の困り感や心配感、選択肢を通じて、生徒が自ら理解を図り、生徒が専しく教育を受ける余地がある。	安全・安心な教育環境の確保	中学校生成事業	351	「高等学校用品、通学品、給食食料等など」・塾問題を通じて、生徒が自ら理解を図り、生徒が専しく教育を受ける余地がある。	創学援助 私的特別支授 奨学金受取率 支給率	10 %	△ 16 %	10 %	32 %	32 %	備考
新小時代を生きるために必要な経験の補助を行う。	経済的理由により、学生の困り感や心配感、選択肢を通じて、生徒が自ら理解を図り、生徒が専しく教育を受ける余地がある。	安全・安心な教育環境の確保	中学校生成事業	240,473	「高等学校用品、通学品、給食食料等など」・塾問題を通じて、生徒が自ら理解を図り、生徒が専しく教育を受ける余地がある。	創学援助 私的特別支授 奨学金受取率 支給率	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	備考
新小時代を生きるために必要な経験の補助を行う。	経済的理由により、学生の困り感や心配感、選択肢を通じて、生徒が自ら理解を図り、生徒が専しく教育を受ける余地がある。	安全・安心な教育環境の確保	中学校生成事業	161,059	「高等学校用品、通学品、給食食料等など」・塾問題を通じて、生徒が自ら理解を図り、生徒が専しく教育を受ける余地がある。	創学援助 私的特別支授 奨学金受取率 支給率	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	備考
新小時代を生きるために必要な経験の補助を行う。	経済的理由により、学生の困り感や心配感、選択肢を通じて、生徒が自ら理解を図り、生徒が専しく教育を受ける余地がある。	安全・安心な教育環境の確保	中学校生成事業	134,312	「高等学校用品、通学品、給食食料等など」・塾問題を通じて、生徒が自ら理解を図り、生徒が専しく教育を受ける余地がある。	創学援助 私的特別支授 奨学金受取率 支給率	95 %	97 %	95 %	96 %	96 %	備考
新小時代を生きるために必要な経験の補助を行う。	経済的理由により、学生の困り感や心配感、選択肢を通じて、生徒が自ら理解を図り、生徒が専しく教育を受ける余地がある。	安全・安心な教育環境の確保	中学校生成事業	24,124	「高等学校用品、通学品、給食食料等など」・塾問題を通じて、生徒が自ら理解を図り、生徒が専しく教育を受ける余地がある。	創学援助 私的特別支授 奨学金受取率 支給率	64 %	58 %	64 %	64 %	64 %	備考

評価シート③ 大項目「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」 〔決算委員会資料 簡易版〕

教育方針	努力目標	政策	施策	対象	手段	目的	20年度 評価結果[内部]			参考	
							成績指標名	成績指標(目標)	(参考)指標		
佐世保市立中学校等の整備、充実	新時代を生き抜くための国際理解と国際化の推進	学習指導基準の充実	学習指導基準の充実	4,910人	佐世保市立中学校等の児童生徒に対する支援	学生にに対し、安定した生息環境を提供し、効率的に事業を運営するため、佐世保市育英会に運営費を支給する事業の一部補助金を充てている。	月平均22名の入寮者見込みに対し、決算では22.8名などだった。ただし、廃止に向けた目標(18名)に対し、2.4%の進捗率(これが成績指標としており、それをもっては必ずしも達成している)に対して、そのような動きは行っていない。	東京学生寮入寮率	80 %	76 %	81 %
郷土愛をはぐくむ	新しい時代を生き抜くための国際理解と国際化の推進	学習指導基準の充実	学習指導基準の充実	3,981	私立学校を経営している5つの学校法人	各学校法人に対して施設及び設備の改善に要する経費の一部補助を行う。	市街地の事業として補助金を支給すること、あるいは扶助金の支給が少額な事業等に着手する際の精勤としての役割を果たせない。	私立学校運営補助率	100 %	100 %	100 %
郷土愛をはぐくむ	自然愛護と国際理解の推進	学校教育向上(義務教育)	学校教育向上(義務教育)	48,056	市立小・中学校の児童・生徒及び教員。	小学校に国際理解指導員、小・中学校に外国語指導員、国際理解指導員、小・中学校に児童・生徒及び教員。	AL丁等派遣事業が開始されて約2年が経ち、生の英語(英語圏)を使用することによって、児童の外國語(英語)を身につける学習環境の面においては、生徒の英語学習に対する態度は向かってきている。今後は、西海ハーバーシリーソートにオーブンした英語圏の英語化がさらに日本語圏の向上のための事業内容改善に努めたい。	長崎県基礎学力調査(英語)平均点の達成率	102 %	100 %	100 %
郷土愛をはぐくむ	自然愛護と国際理解の推進	学校教育向上(義務教育)	学校教育向上(義務教育)	12,762	市立小学校43~4年生、公立小学校4年生の男女生徒。	西海ハーバーシリーソート開業後、小4年生では、ハーバー自然のすばらしさを、中4年生では、ハーバーで夏祭りや取組みや伝統行事を行なう中学生が行なう活動を行うことで、児童のための機会に対する意識が高まる。その後は、西海ハーバーで修学旅行を行なうことで、児童・生徒の豊かな人間性や社会性を育てる。	「ふるさと文化・環境」発展事業実施率	86 %	87 %	79 %	
郷土愛をはぐくむ	青少年育成	青少年育成	青少年育成	51	乳幼児から小・中学生までの子育てを扶持するための団体	①学校支援金講演の位置促進及び同会議による取組みの充実 ②学級懇親会による連携方策の検討 ③講演会・研修会による啓発など	入学招会会場の子育て講座は効果の高い事業であり、PTAとの共催事業についても、PTAと連携しながら実現的な事業展開に努めている。また、平成20年度の推進率は、家庭教育講座にては多くの保護者が参加する傾向にある。しかし、家庭教育講座としては家庭教育講座にては保護者が多く、児童生徒の高い事業である。	学校支援会場設置率(単純比較率)	85 %	83 %	71 %
郷土愛をはぐくむ	青少年育成	青少年育成	青少年育成	22,062	青少年(生い立ち学生)の市販化と、地域住民による飲食店や問屋店による飲食券の発行	①子ども(生い立ち学生)の市販化と、地域住民による飲食店や問屋店による飲食券の発行	①居場所を必要とするすべての子どもが安心安全で居られる市町村社会の実現をめざして、地域住民による飲食店や問屋店による飲食券の発行に対する支援を行なうことで、地域ぐるみでの子育てにあたること。	扶養後対策実施率	81 %	93 %	84 %
郷土愛をはぐくむ	青少年育成	青少年育成	青少年育成	3,975	青少年(小学生及び中学校生)、青少年全員の関係者や一般市民	①青少年育成課題会議(少年育成懇親会)の開催 ②少年育成委員会による課題と問題点についての検討会議 ③扶養後子ども扶養活動の奨励	①青少年育成課題会議(少年育成懇親会)の開催がかかる事務への影響を防ぐことにより、青少年育成課題会議への参加者数を増やすことによる効果的である。	扶養後対策実施率	750 人	530 人	830 人

評価シート③
大項目「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」
〔決算委員会資料 開易版〕

教育方針	労力目標	政策	施策	対象	手段	目的	20年度 評価結果[内部]		(参考)指標	備考
							成績指標(実績)	成績指標(目標)		
青少年育成事業	95 %	83 %	88 %	88 %						
青少年育成事業	6 %	1 %	3 %	3 %						
青少年育成事業	1,660 人	1,546 人	1,714 人	1,714 人						
青少年育成事業	70 %	61 %	69 %	69 %						
青少年育成事業	12 件	12 件	13 件	13 件						
青少年育成事業	6,000 人	4,955 人	6,508 人	6,508 人						
青少年育成事業	82,040 人	74,531 人	80,920 人	80,920 人						

評価シート③
大項目「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」

教育方針	努力目標	政策 施策	事業 事務	20決算 (千円)	対象	手段	目的	20年度 評価結果[内部]		(参考) 19年度指標	備考	
								成果指標 (目標)	成果指標 (実現)			
新しい時代を生き抜くためのたくましさと豊かな心を育むことを重視する。そのため、学校・家庭、地域社会が一休して、社会的な実現力をもつ人としての基礎をもつて、社会的・文化的・精神的・身体的・心身の発達を図る。そのために、心豊かな人材を育むこととする。	生涯学習のまちづくり	生涯学習の充実化事業	松陵苑ラーニング施設	637	①市民(住民)は全教科、②報酬受取者(2歳児)等の整備・充実。	教材及び機器の整備・充実及び活用を図ることにより、市民の主体的・自立的な活動の土台となる環境の整備を促進する。	相應対応ダイアの充実、情報の提供により利便性の向上を図るとともに、社会を貢献する、利便性や開拓的に対する市民自ら考える、さらなる利用促進を図るために、今後も情報発信を重点的に促進していく。	相應対応ダイアの充実、情報の提供により利便性の向上を図るとともに、社会を貢献する、利便性や開拓的に対する市民自ら考える、さらなる利用促進を図るために、今後も情報発信を重点的に促進していく。	350件	271件	304件	
生涯学習のまちづくり	生涯学習の運営支援事業	拠点施設	県立文化館運営事業	9,724	市内小中学生、幼稚園児、一般市民	・「ラネタリウム番組授与」<一般授与>、少年科学教室、児童文化教室、夏季教室の開催、工作教室、作り教室、年10回の開催、ケッタ大会等行事の開催、児童音楽団の活動	科学や文化、音楽に関する各種活動を実施することによって市内の小中学生が、主に他の人に喜ばれる活動が深まることにより、他の市民が体験活動を行なうことで、児童音楽団の活動に対する一般市民が天井や環境への興味関心を高める。	限られた予算の中で、できる限り市民のニーズにあわせた経営や行事の開催に努めてきた。また、学校やPIA寺の委託によって市内の中学校、コンサートなども開催している。市民に親しまれる施設の運営にあたっては、市理的で重要な場所にあるので、利用者が限られる一面もあるが、広報の仕方や教室開催時間の工夫等で、教室運営は増加の傾向にある。教室改善に努め、その後を生かし、更なる工夫改善に努めたい。	施設年間利用者数	16,500人	18,381人	17,560人
生涯学習のまちづくり	生涯学習の運営支援事業	拠点施設	図書館事業	150,872	市内に居住する人、近隣の自由体恤住民	安全で快適な施設の維持管理を行い、コンピューターによる円滑な図書館業務を行う。インターネットでの蔵書検索、予約サービスを提供する。10ヶ月免図料貰相談会場に出向き、ブックスタートパックを手渡す。郷土資料を収集・保存し、市民に提供する。	図書館の一部改修を受け、市民が社会教育活動の実現を活かせるよう、市内イベントの内容を見直す。また、図書館システムの改修を行い、レフレスン(資料番号)コードを広く利用者の手元用印捺印貼付などだけでなく生活に密着した図書館づくりを目指す。	年間貸出冊数	780,780冊	773,581冊	764,342冊	
生涯学習のまちづくり	生涯学習の運営支援事業	拠点施設	公民館等事業	146,889	地城生・学生関係者、児童・保護者	利用者がより良い環境により快適な生涯学習ができるように、内装などの改修を行なう。インターネットを利用したための準備を怠ることなく、図書室の運営が行なわれると評価できる。しかし、今後は、公民館施設の立て直しなど基本的な対策の計画が必要である。	公民館施設の維持管理については、中央公民館の改修計画や他の施設の老朽化対応など緊急感が高まると、事業が増大するなど、周囲の状況が悪くなると、運営が止まってしまう。しかし、今後は、公民館施設の立て直しなど基本的な対策の計画が必要である。	公民館利用者数	891,000人	837,484人	886,712人	
生涯学習のまちづくり	生涯学習の運営支援事業	拠点施設	地区公民館休憩室	223,064	愛宕中学校区の生徒、地区公民館休憩室への借入者	地区公民館休憩室の整備を進めることで、地区住民の生きがい向上、健康増進の推進に寄与することができる。	地区公民館休憩室等備率	100%	100%	60%		
生涯学習のまちづくり	生涯学習の運営支援事業	拠点施設	吉井生涯学習センター(仮称)建設事業	25,540	市民全般(①吉井町民②吉井地区児童・青少年)を対象とする。	①教育センター②少年科学館(仮称)の見学会を開催する。③地区公民館(中央公民館)が「生涯学習の場」(接続)を運営活動にいそしむことで、心地よく実現した生活を送る。	総合教育センター(仮称)整備率	6%	5%	4%		
生涯学習のまちづくり	生涯学習の運営支援事業	拠点施設	吉井生涯学習センター(仮称)建設事業	18,121	①市民(主に吉井地区生徒)②吉井地区生涯学習センター	①施設の提供②文化活動の支援③施設の運営管理④生涯学習事業(いまわりの館)⑤講座の開催	例の講題として、まどうやつて舞踏などの経験をするか、どのようなことを考えてくる。合併後4年が経過し、必要経費の分析がかかるなりりできている。今後は運営費などが節約できると思われる。経費削減の努力を継続する。同時に、どうしたら講師の内容を充実させられるか、このことからおれではない。	施設年間利用者数	65,000人	63,174人	69,340人	
生涯学習のまちづくり	生涯学習の運営支援事業	拠点施設	世知原生涯学習センター管運事業	12,354	市民(主に世知原地区生員)	①多様化する生涯学習に対する県の提供②市民に生涯学習に對応できる県の提供③市民が生涯学習の場として当該施設を快適に利用できる(利用者の安全性、利便性向上)④地区住民の生涯学習活動への支援	予算の来ね合いもあるが、施設設備面で施設の老朽化等による改善で、安否手帳版の箇所もあるため、緊急度・優先順位等に箇所にて協議を行い、整備を進める必要がある。	施設利用者数	60,000人	51,356人	45,093人	

評価シート③

大項目「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」

評価シート③ 太項目「教育委員会が管理・執行を行う教育事務に委任する事務」

大項目「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」

教育方針	政策	施策	対象	手段	目的	20年度 評価結果【内部】		成績指標(目標)	(参考) 19年度指標	備考		
						評価指標名	成績指標(実績)					
新時代を生きる人材の育成	文化芸術によるまちづくり	市民文化振興事業	20兆萬円(千円)	本市の芸術文化活動等の振興に対する活用実績	対象(市民または市中の文化団体)が、助成を受けて芸術文化のレベルを向上させ、活動を推進させていく。	補助対象事業の実績率	100 %	84 %	72 %			
新時代を生きる人材の育成	文化芸術によるまちづくり	市民文化振興事業	2,300	本市の芸術文化活動等の振興に対する活用実績	①市民文化振興事業の周知を行い、申請のあつた回体にて芸術文化のレベルを向上させ、活動を推進させていく。	三館入館者数	2,550 人	2,131 人	2,223 人			
新時代を生きる人材の育成	文化芸術によるまちづくり	伝統文化振興事業	3,496	本市の芸術文化活動等の振興に対する活用実績	①世知原、宇久、小佐々の各地区に住む市民や、それぞれの地区的地区を理解する。②施設が郷土資料館、民俗資料館等であるが、各館それぞれに固有の歴史や、展示内容の違いがある。③郷土資料館は、郷土資料館等の知識を理解する。④郷土資料館等の知識を理解する。	各地はそれぞれの特徴的な歴史を展示した資料館があるが、各館それぞれに固有の歴史や、展示内容の違いがある。一方で、他の施設(郷土資料館など)を含めて統一した展示を行なうセクションを設けるなどして、地域に里山資源を活用されることを示す。	三館入館者数	100,000 人	113,186 人	95,649 人		
新時代を生きる人材の育成	文化芸術によるまちづくり	伝統文化振興事業	4,463	本市の芸術文化活動等の振興に対する活用実績	①三川内地区を訪れる新生児を見守る「おひな祭り」は年1回の展示替えを実施。	うつわ歴史館の運営と、展示内容の充実。	うつわ歴史館の運営と、展示内容の充実。	うつわ歴史館の運営と、展示内容の充実。	うつわ歴史館の運営と、展示内容の充実。			
新時代を生きる人材の育成	文化芸術によるまちづくり	伝統文化振興事業	16,385	本市の芸術文化活動等の振興に対する活用実績	①文化財の管理、保護事業(宝物・文化財保管、後継者育成、文化財保護事業等)は、伝統文化振興事業の運営を通じて、市内にある文化財。	①市民共有の財産である文化財が適正に管理、運営をめざすには行政の関与が不可欠である。②市民が身近に感じる歴史や文化財の価値を理解し、郷土に対する誇りと尊厳感、文化財保護意識を向かへさせること。③調査研究のための教科書とし、歴史教育の充実、学校教育や社会教育の実践を通じて、文化財の保護・活用事業(調査研究・歴史教育・文化財保護等)。	①市民共有の財産である文化財が適正に管理、運営をめざすには行政の関与が不可欠である。②市民が身近に感じる歴史や文化財の価値を理解し、郷土に対する誇りと尊厳感、文化財保護意識を向かへさせること。③調査研究のための教科書とし、歴史教育の充実、学校教育や社会教育の実践を通じて、文化財の保護・活用事業(調査研究・歴史教育・文化財保護等)。	①市民共有の財産である文化財が適正に管理、運営をめざすには行政の関与が不可欠である。②市民が身近に感じる歴史や文化財の価値を理解し、郷土に対する誇りと尊厳感、文化財保護意識を向かへさせること。③調査研究のための教科書とし、歴史教育の充実、学校教育や社会教育の実践を通じて、文化財の保護・活用事業(調査研究・歴史教育・文化財保護等)。	100 %	100 %	100 %	
新時代を生きる人材の育成	文化芸術によるまちづくり	伝統文化振興事業	12,081	市民、特に黒島在住の黒島天主堂。	黒島天主堂を中心とする黒島全体の重要な位置を重視する。また、黒島天主堂の真並さを実現する。○黒島天主堂の文化的景観や黒島天主堂が世界遺産として登録される。	生民説明会開催件数	10 回	5 回	0 回	平成20年度からの新規事業のため、平成19年度成績無効なし。		
新時代を生きる人材の育成	文化芸術によるまちづくり	スポーツ・文化振興事業	4,271	○スポーツ振興費負担金受付者	○体育行政業務に関する規定を実施する。○市民、特に黒島在住の黒島天主堂を中心とした重要性を受けることによってスポーツに取り組むため、コスト縮減が課題となる。	教育委員会員数	110 人	144 人	137 人	団体人		
新時代を生きる人材の育成	文化芸術によるまちづくり	スポーツ・文化振興事業	6,120	体育指導委員会員(紹介が終わっている人)	○体育行政業務に関する規定を実施する。○市民、特に黒島在住の黒島天主堂を中心とした重要性を受けることによってスポーツに取り組むため、コスト縮減が課題となる。	ニーズ等及び講習会の参加者数	1,820 人	1,570 人	2,329 人	クラブ		
新時代を生きる人材の育成	文化芸術によるまちづくり	スポーツ・文化振興事業	3,535	○スポーツ振興費負担金受付者	◆委員の活動出席が減少したことを受け、市民の委員が活動しやすい研修会・講習会等の日程調整が必要である。○音楽会の開催頻度を増加させたために事業費が増加しているため、コスト縮減が課題となる。	総合型地域スポーツクラブ(累計)	5 ドラ	4 ドラ	3 ドラ	クラブ		

評価シート③ 大項目「教務委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」 〔決算委員会資料　四易版〕

評価シート③

大項目「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」

決算委員会資料 教育方針	努力目標	政策	施策	事業 事務	20決算 (千円)	対象	手段	目的	20年度 評価結果[内部]		成果指標 (目標)	成果指標 (実績)	(参考) 19年度指標	備考
									成果指標名	成果指標 (目標)				
新しい時代を生き抜くためのたくましさと心を育むとともに、地域社会に貢献する市佐世保市	スポーツに親しめる団体の振興づくり	スポーツによる競技スポーツの振興事業	市民・団体・スポーツ団体	728	スポーツをしている市民・団体・スポーツ団体をはじめとする各団体会員。	長崎国体開催に向け、各種進歩体制を確立させ、大会の開催方針・計画等を策定し、実行する。	円満に団体が開催されること。	目標である本当に開催される競技数について、できなかったが、決定した競技の実施の中止が複数あるために、実施するに必要な費用は通常のため、費用が増加したことから、今後は団体の円満な運営のためには、異常開催回数の調整を行ないながら、運営の監督や市民の協力体制を整えていく必要がある。	佐世保市で開催されるにかかる競技数について、実施された競技の実施回数が固定されると、他の回数が複数回数を行うことにより、異常開催回数が決定した競技数	8競技	7競技	0競技	平成20年度から新規事業のため、競技数	
健康で活力に満ちる市佐世保市と地域社会を一丸として、市佐世保市を愛し、地域社会に貢献する市市民を育成する。そのため、学校・家庭・地域社会が一休となり、より社会の実現をめざし、人としての尊厳及び資本を重んじて教育に努める。	スポーツに親しめる団体の推進環境づくり	スポーツ施設の充実事業	市民・団体・スポーツ団体	93,927	佐世保市体育振興資金・施設利用者及び団体・財團所管施設(佐世保野球場、振興会体育館・陸上競技場アリーナ)やスポーツ教育金などの各種事業	財團所管施設(佐世保野球場、振興会体育館・陸上競技場アリーナ)の管理運営、施設整備やスポーツ教育金などの各種事業を実施するための補助金を交付している。	市民が気軽にスポーツに親しめるよう、各種スポーツ教室を開催するなどし、普及・振興を図っている。	各種スポーツ教室等の開催や、安全で快適な施設の運営と、施設の設備改修等に努めることで、スポーツの普及・振興が図られる。補助金の追加を計画している。これは年次に及ぶ設備投資を占めている。これは年次に及ぶ設備投資であるため、毎年コストを割り出した結果が前年比で高くなっている。	財團所管施設利用者数	104,800人	110,912人	103,800人	財團所管施設利用者数	
健康で活力に満ちる市佐世保市と地域社会を一丸として、市佐世保市を愛し、地域社会に貢献する市市民を育成する。そのため、学校・家庭・地域社会が一休となり、より社会の実現をめざし、人としての尊厳及び資本を重んじて教育に努める。	スポーツに親しめる団体の推進環境づくり	スポーツ施設の充実事業	市民・団体・スポーツ団体	206,329	施設利用者及び団体・公共体育施設	適切な施設管理を行なうとともに、より安全で利便性の高い施設の提供を行う。	誰もが気軽に、楽しく、快適で安全に体育施設を利用できる。	年間を通して安定的に施設を開催した。利用者の数は年々多くなるが、コスト削減も含めて改修が必要となる。	施設利用者数	974,400人	905,273人	961,824人	施設利用者数	
健康で活力に満ちる市佐世保市と地域社会を一丸として、市佐世保市を愛し、地域社会に貢献する市市民を育成する。そのため、学校・家庭・地域社会が一休となり、より社会の実現をめざし、人としての尊厳及び資本を重んじて教育に努める。	スポーツに親しめる団体の推進環境づくり	スポーツ施設の充実事業	市民・団体・スポーツ団体	17,271	施設利用者及び団体・市体育館	「体育施設整備計画」に基づき、計画的な施設整備を行う。「佐世保市震災改修促進計画」に基づき、耐震診断計画を行う。	施設利用者が安全で快適に施設を利用できる。	計画的な施設整備を行い、安全で快適な施設を提供する。そのためには多額の事業費が必要となるが、どのように財源を確保し、またコスト削減に努めるかが課題である。	スポーツ施設利用者満足度	4点	4点	4点	スポーツ施設利用者満足度	
26年長崎国体を円滑に開催する。全市的なスポーツ施設の均衡を図ることで、公平な市民サービスを提供する。	スポーツに親しめる団体の推進環境づくり	スポーツ施設事業	市民・団体・スポーツ団体	0	施設利用者及び団体・東部スポーツ広場新体育館	平成26年の長崎国体を円滑に開催する。全市的なスポーツ施設の均衡を図ることで、公平な市民サービスを提供する。	平成21年度からの新規事業のため、評議会結果なし	体育館整備 進歩率					平成21年度からの新規事業のため、成果目標なし	